令和7年度地区別組合員大会 質問・意見・要望の要旨 (開催日順)

通番	ブロック・支店	質問・意見・要望の要旨	その場での回答
1	塩冶	地区本部の機構図について、統括支店長の立場はどうなっているか。また、地区本部運営委員のあり方についてどうなのか。機構図に入れるべきではないか。	統括支店長の位置づけは以前の役割で言う金融共済部長になります。ただ、事業方針は本店から指示を受けており、店舗運営についてのみ各地区本部で決定しています。機構図は職制規程の職務権限を基準に作成しているため、そこに含まれていない地区本部運営委員は記載しておりません。
2	塩冶	JAとジュンテンドーとの連携が始まったが、JAにメリットはあるのか。	JAとジュンテンドーとの連携にはいくつかの重要なメリットがあります。ジュンテンドーポイント会員としておさいふカードを紐付けた組合員がジュンテンドーで購入した際、その全ての購入金額の0.65%がJAへ利益還元されます。また、農業関連資材に関しては、JAマーク品以外の商品でも3.65%の利益還元が適用されるため、幅広い選択肢を持ちながら恩恵を受けることができます。さらに、人件費の削減や店舗の圧縮によって収益の改善が期待され、より効率的な運営が可能となります。このような取り組みを通じて、JAは組合員の皆様に質の高いサービスを提供しつつ、持続可能な経営を目指しています。
3	塩冶	JAとジュンテンドーでは資材の価格がJAのほうが高い印象がある。ジュンテンドーではセールも行われており、JAのシェアが奪われる可能性のほうが高いのではないか。	ホームセンターの商品とJAの商品では購買層が異なり、JAの商品は専業農家の皆様に特化した商品を取り扱っております。そのため、価格面で高く感じられる場合がございます。グリーンセンターでは、外勤日などを活用し、定期的にキャンペーンや特典を実施し、皆様によりお得にご利用いただけるよう努めております。今後も信頼いただけるサービスの提供を目指し、努力を続けてまいります。
4	塩冶	概算金10,500円/袋の設定根拠は何か。昨年集荷目標に届かなかったが今年度の方策はあるのか。目標達成の見通しはどうか。	米価高騰＝棚不足を背景に、本年は生産者側で縁故米が増えるのではないかと考える中、概算金には、農家コストを考慮して赤字を回避できるラインと試算された10,500円/袋は保障すると早々に公表し出荷契約をすすめたところ、昨年の集荷量17万3千袋を超過18万5千袋の出荷契約を頂きました。更に先日、猛暑湯水で厳しかった生産現場を守るため、本年産米概算金単価を前年比約70%アップさせ、14,200円(コシ1等上)/袋に決定しました。商系業者との集荷競争に置かれる中で買い負けを抑え、『島根米』実需側へ安定供給できるよう精一杯集荷に努めていきます。
5	塩冶	JAに米を出す際の費用について教えてほしい。	1袋あたり税別で検査手数料35円、庭先集荷料190円、持ち込みであれば集荷手数料は掛かりませんが諸経費55.5円掛かります。
6	塩冶	米が高くなった原因は何か。またJAの考える米の価格はどの程度か。	大きな要因は様々なコストの増大です。今までは米価を維持するため生産調整を進め、収入の減少を転作作物の振興でカバーする方策を進めてきましたが、それらの増産に素早く対応できていない背景があります。生産者の高齢化も含め複数要因がある米価高騰の情勢ですが、5kg売価として通常の米であれば3,000円以上、政府備蓄米の古古米なら1,800円程度が現実的な価格ではないかと考えています。
7	塩冶	今年の米騒動はテレビや新聞では消費者目線の話ばかり目立っている。生産費は上がる。コストがかかる。マスコミを使って生産者運動でもするべきだ。	マスコミを活用した消費者への理解醸成は重要であるという認識です。しかしながらマスコミについてはどうしても消費者よりになる傾向があると考えます。そのため令和7年6月に成立し令和8年度より運用が予定されている「食品等の持続的な供給を実現するための食品等事業者による事業活動の促進及び食品等の取引の適正化に関する法律」(食料システム法)が、農畜産物の合理的な価格形成の実現に向けた取り組みとなるよう、JAグループとしてデータ提供など積極的に関わって行く必要があると考えています。JAとして持続可能な農業の実現に向けて不断の努力を行って行く必要があると考えています。
8	塩冶	令和の米騒動となっていますが、出雲管内の状況と今後の展望を教えてください。生産者・消費者それぞれの目線からお願いします。	コメの急激な需要の高まりから、令和7年産米生産に関しては縁故米を確保する動きが増え、転作作物を減らし主食用米の作付け面積が増えました。一方で、西日本有数のブランド米産地として築いてきた島根米の販路へ供給するJAの集荷量も確保が難しくなっていることから、農家が生産資材高騰に対応できる再生産可能な概算金の補償価格を提示して、出荷契約量の積み上げに努めることと致しております。
9	塩冶	トキの放鳥が近づいていると聞きました。JAとトキとの関りはどうでしょうか？トキに関連した商品開発やイベント等は検討されていますか？	地域の生産者(稗原、佐田、斐川など)、島根県、出雲市やJAで出雲市環境にやさしい農業研究会を立ち上げ、検討をしているところです。その中に朱鷺が飛び交う地域でブランド米ができないか検討をしています。一方で朱鷺が飛ぶことにより生産者さんの負担が出来る限り発生しないようJAとして提言をしているところです。(参考:出来る限り畦畔に除草剤を散布しない、冬に灌水できるところはしてといったゆるい取り組みをする話となっています。)
10	塩冶	近年のあまりの高温により、コシヒカリでは等級・収量ともに限界が来ていると思われま。各県ともに高温耐性良食味米への品種改良が進められていますが、コシヒカリに代わる品種について島根県の取り組みはどういった状況でしょうか？ゆうだい21という品種が有望らしいとのことですが・・・	「コシヒカリ」の高温による品質低下が課題となり、高温耐性品種として「つや姫」、「きぬむすめ」への作付け転換が進んできました。また、令和5年産より「つきあかり」の栽培が始まり作期分散も進みコシヒカリの作付けは減少傾向にあります。食味に優れお米と云えば「コシヒカリ」というぐらい認知度が高く、平坦部での品質低下は顕著ですが山間部等においては品質も高く評価されている地域もあつたり、飯米需要も高いため全面的な品種転換はすすんでいない現状です。島根県においては、島根県で育種された品種を含めて、平坦部の「コシヒカリ」に変わる品種の試験栽培が実施されています。
11	荒木・塩郷	支店統廃合が実施されると大社支店管内で公共料金の支払いができなくなることから、ラピタ大社店のレジカウンターで公金収納ができるようにしてほしい。	いろいろなサービス拡大には取組んでいますが、公共料金に対応するレジ機能の導入は予定していません。
12	荒木・塩郷	ファミリーマート大社店が閉店し、おどろの集荷作業などの際に飲料を購入・補給することができなくなっている。飲料の自動販売機を設置してもらえないか。	ご要望とお早く設置させていただきます。
13	荒木・塩郷	女性部の会員が年々減少するなかで精力的に活動している。新たに加入いただけそうな方に声掛け・紹介をしてもらいたい。	会員の皆様からのご紹介やお声掛けは、女性部の活動をより活発にし、新しい仲間を迎えるうえで大変重要であると考えております。今後も、より多くの方に女性部の魅力を知っていただけるよう、活動内容の充実や広報にも努めてまいります。
14	出雲・出雲北	米の値段(R7年産)について、業者によっては1万5,000円/袋という話も聞いている。米不足により他の業者は個々に集荷に来る。JAも個々に集荷を行い、米の出荷増大に努める必要があるのではないか。	業者の買取価格は、JAの概算金にプラス500円等として買い取りされる(後出しじゃんけん)と認識しています。できるだけ集荷させていただきたいのですが、JAが個々へ集荷に歩くことは運送屋に依頼するしかなく、事業者も働き方改革等で難しくなっている状況です。カントリーエレベーター、米倉庫への持ち込みが出来ない方には、業者による庭先集荷を事前に申し込んで頂くようご協力をお願いします。
15	出雲・出雲北	3年契約で契約違反1袋当たり2,500円のペナルティとなるが、誰しも3年先の経営等のことは把握できないのではないか。	災害等諸情勢による極端な不作や作付面積が減った場合は見直しが必要と考えますが、3年間の取り扱いを実需側と事前に契約することで最低価格が補償できるので、JAから先の販路を裏切らないようにするためにもご理解頂きたいです。
16	出雲・出雲北	主食用米がクローズアップされているが、この他、飼料用米・WCSに対する対応はどうなっているのか。	主食用米の6年産と比べると価格差が出ています。国からの補助8万円/10aに対する増額の働きかけを行う必要があると認識しています。尚、管内の需要者もあることから8年以降の面積確保を働きかけていきます。
17	出雲・出雲北	近年、新入職員数が減少しているようだが、対策はあるのか。もっと魅力ある職場にする必要がある。	統合から10年を迎え、11地区本部の給与体系を統一するとともに、初任給の引き上げも実施しました。また、退職された方の職場復帰を促進するため、賃金等の制度改定にも力を入れてまいります。今後も、職員一人ひとりが働き甲斐を感じられる職場づくりに努めてまいります。
18	出雲・出雲北	正組合員数・准組合員数の状況を教えてください。組合員が減れば衰退してしまうので組合員数を増やす努力をしてもらいたい。	令和7年3月末で正組合員は54,423人(前年比△1,871人)、准組合員は151,172人(前年比△2,591人)となっております、いずれも減少傾向です。人口減少など周辺環境は厳しい中ですが、多くの皆さんに組合員になっていただき、安定的なサービスやサポートが提供できる組織基盤をつくり、一緒になって地域の農業や経済を活性化していけるよう取り組んで参ります。
19	出雲・出雲北	概算金の決定方法が知りたい。誰がどのように決めるのか。	生産コスト等を考慮し毎年8月の理事会で決定しています。以前は買取方式を行った時期もありましたが、現在は概算金方式で行っており、販売が好調であれば12月に追加金を支払うこととしています。
20	出雲・出雲北	女性部でぼかし肥料を年間2トン作っている。有機肥料として認定できないか。	女性部で製造されたぼかし肥料を有機肥料として認定するには、有機JAS規格への適合、原材料の特定と評価、製造工程の詳細な記録、そして登録認定機関の検査と認証が必要です。必要な書類や情報を整備すれば、認定取得が可能になると考えられます。具体的な手続きについては、島根有機農業協会や島根県立農林大学校にご相談いただくことをおすすめします。
21	出雲・出雲北	出雲の米を使った日本酒が金賞を受賞している。市内でその日本酒を置いているスーパーは少なく、(ラピタは置いてある)もっと宣伝すべきである。また食用の米もPRしブランド化など考えてはどうか。	宣伝不足を認識しており、対応していく考えであります。酒米は、コロナ禍に比べ近年需要が高まり、生産者からは主食用米並みの取引価格を要望されています。酒屋に対し少しでも高く買い取って頂けるよう価格交渉を行なってまいります。
22	出雲・出雲北	他のスーパーは無人レジが多く、買い物かスムーズにできるがラピタには本店に4台のみであり、はまや本店には無い。今後の対応方針はどうか。	令和7年度にレジの更新時期を迎えています。セルフレジ(非対面レジ)についても併せて検討させていただきます。
23	出雲南	水張5年ルールは令和9年から無くなるのか。1回は水張をしなければならないのか。	水張5年ルールは令和9年から無くなります。ただし、7年・8年に補助金を受給するために連作障害を回避する取組(土壌改良資材の施用等)の実施が必要です。作業日誌等の証拠書類の保管をお願いします。
24	出雲南	概算金の算出方法はどのようになっているのか。	島根県には卸先業者が18社ある中で、コスト計算を基本に取引価格が決まっています。JAの概算金決定には特に生産者コストを反映する必要があり、まずは農林水産省が算出した経費をベースとして、在庫状況、流通経路を考慮すると島根県では最低21,000円/60kgと増額になりました。今後8月の理事会で概算金を設定し、その後の販売成果によって12月末に追加金を支払い、翌年6月末のJA買い上げによる精算払いを予定しています。
25	出雲南	コメ不足の原因はインバウンド需要や災害に備えた買い貯め等、囁かれているが持論としては絶対量(供給不足)の少なさが原因ではないか。米政策をもっとJAで推し進めて、JAとして政策提案をすべきである。	農林水産省より需給見込みの甘さについて言及があり、結果、米不足となったことが最大の原因であるとの認識です。今後の米価については、需給バランスの再構築はもちろんのこと、令和7年6月に成立し令和8年度より運用が予定されている「食料等の持続的な供給を実現するための食品等事業者による事業活動の促進及び食品等の取引の適正化に関する法律」(食料システム法)が、農畜産物の合理的な価格形成の実現に向けた取り組みとなると考えており、JAグループとしてデータ提供など積極的に関わって行く必要があると考えています。JAとして持続可能な農業の実現に向けて不断の努力を行って行く必要があると考えています。

令和7年度地区別組合員大会 質問・意見・要望の要旨 (開催日順)

通番	ブロック・支店	質問・意見・要望の要旨	その場での回答
26	出雲南	殿森営農組合は構成員19名で7.5haを作付しているが、平均年齢70歳以上で高齢化している。いつまで出来るかは中山間地域での問題である、この不安に対するJAとしての将来像はあるのか。	問題点の再確認、将来に向けてのビジョンを地域とともに考える場として、出雲市主導で行われている「地域計画の話し合い」にJAも協力、参加を行っています。今後の中山間地をはじめとする農地のありかた、担い手育成、集落営農後継者対策など地域への協力、行政への働きかけに取り組んでいきます。
27	出雲南	エゴマの南部の生産面積は令和7年度計画が減っているのはなぜか。	水稻の転作のためのエゴマの栽培面積が減少しております。水稻情勢の影響もあります。また、全国的にも需要が減少し、販売価格も低下しているところですが、新たな販売先を獲得するなど生産面積が向上できるように努力します。
28	出雲南	水田政策が度々変わりますが、農家にとって生産向上になっていません。そして農家所得は、低迷し赤字となることもあります。今までは家を守ることで努力してきましたが、これからは核家族により後継者が少なく生産拡大にならないと思います。そのためにも営農指導の強化、土壌改良、病害虫駆除、イノシシ対策など、農家への政策応援をお願いします。	水田政策は令和9年度に大きく変更すると政府が発表しています。この協議に現場の声が国政に届くようJAグループとして努めていく必要があります。政策については内容が分かり次第、お伝えしますが、もっとも重要なことは再生産できるための適正価格の実現だと思っておりますので、今後ともJAグループ一丸となって、関係機関と連携しながら取り組んで行く所存です。また、最近、地域の実情を分かっていないマスメディアからJA不要論等が出てきていますが、指導事業はJAが本来すべき業務であり、JAの総合力を発揮しながら営農指導強化に努めて参ります。イノシシをはじめとする鳥獣被害については、引き続き出雲市農政会議と連携し、行政等への働き掛けを行って参りますし、5月のしまねびよりに掲載させていただきましたが、出雲市の有害鳥獣被害対策事業など有益な情報を掲載していきますので、よろしく願いいたします。
29	出雲南	JA全農島根農機サポート株式会社佐田サービスセンターで農機具(草刈り機)の修理を依頼したところ、部品の在庫が無いため取り寄せに1日から2日かかるとのことでした。今まででしたら消耗備品とか故障しやすい部品は在庫があって、その場で修理してもらいました。いまは本社の意向で在庫は置かないとのことですが、ある程度の部品などは在庫してもらいたい。そうしないと顧客は他者に逃げてしまいます。修理代の支払いは事務員さんが居なくなったため、口座引きとのことですが、現金払いができるようにしてもらいたい。	部品の在庫につきましては、よく使う消耗部品は、各サービスセンターに、在庫して修理対応をしております。尚、健全経営の為に、在庫部品点数は圧縮しておりますが、特殊な部品でなければ全農部品センターから翌日入荷しますのでご理解を頂きますようお願いいたします。また、佐田SCに於いては事務員の配置が無くご迷惑をかけておりますが、現金の取り扱いが出来ないわけではなく、現金トラブルのリスク管理の面から、なるべく口座取引をお願いしております。
30	出雲南	JAの再編が進んでおりますが営農センターの検討はその後どうなっていますか？JAが遠くなる感じがしますが営農センターを利用しやすく気軽に相談できる部署にしてください。(例えば、ミニJAなどの取り組み？相談コーナーの取り組み？)	現在のところ、営農センター再編についての検討は行っていません。南部営農センターでは毎週火曜日の9:00～11:00まで営農相談日を設けていますし、地区担当者もいますので、お気軽にご相談頂ければと思います。
31	出雲南	出雲市ではトキの放鳥が進んでおり稗原(野尻)地区において放鳥地候補になっています。JAとしてトキを取り入れ「トキ米」を作り付加価値を高めてはどうでしょうか？そのためには稗原地区だけでなく南部地区・出雲地区全体の取り組みも必要と思いますが、いかがですか？	地域の生産者(稗原、佐田、斐川など)、島根県、出雲市やJAで出雲市環境にやさしい農業研究会を立ち上げ、検討をしているところです。その中に朱鷺が飛び交う地域でブランド米ができないか検討をしています。一方で朱鷺が飛ぶことにより生産者さんの負担が出来る限り発生しないようJAとして提言をしているところです。(参考:出来る限り畦畔に除草剤を散布しない、冬に灌水できるところはしてといったゆるい取り組みをする話となっています)ブランド米の学校給食への導入やふるさと納税の返礼品等、行政と協議する場面がかなりあると思います。
32	川跡	北部給油所で自動車に給油しようとしたところ、消防法の関係で2人以上職員がいないと18:00までしか給油できないと断られたがどういふことか。	携行缶への給油は人員体制の都合上18時までとしていますが、自動車への給油は20時までできますので確認させていただきます。ご迷惑をお掛けしました。スタッフに確認した結果、携行缶が荷台に積んであったため、思い込みで声掛けしたようです。ご迷惑をお掛けしました。
33	川跡	グリーンセンターで購入した除草剤の値段が2,448円、他業者では1,772円と700円も違うがなぜか。	商品の価格差についてはさまざまな理由が考えられます。まず、JAの取り扱っている商品と同じであるかを確認するために、商品名をご教示いただければと思います。同じ除草剤であっても、成分や濃度が異なる場合があります。有効成分の濃度が高い商品は、効果がより期待できる分、価格が高くなる傾向にあります。この点を踏まえ、詳細を確認させていただければ、より正確な検討ができるかと思えます。
34	川跡	飼料用米の作況指数の決定過程	出雲地区の基準反収(534kg/10a)を国から示された出来秋の当年反収で調整(当年単収÷当年反収×基準反収)したもので補助金の金額が決定しています。
35	川跡	概算金の価格決定プロセスを知らせて欲しい。全国のJAの6割が買い取り方式、鳥取は生産費払い方式。生産者にとっては安心感のある方式と思うがどうか。	JAしまねは、本店米穀園芸部で農水省が示すコスト、米の在庫状況、需給環境等を勘案して提案し、理事会で決定しています。現在行っている概算金制度(集荷後買取方式=JAに委託販売)が、生産者にとって一番メリットのある方式と考えています。
36	川跡	米価が下落すれば若い農業者たちの意欲がますます減退していくので、国へ農業政策の抜本的な対策を要望して欲しい。	米価については、需給バランスの再構築はもちろんのこと、令和7年6月に成立し令和8年度より運用が予定されている「食品等の持続的な供給を実現するための食品等事業者による事業活動の促進及び食品等の取引の適正化に関する法律」(食料システム法)が、農畜産物の合理的な価格形成の実現に向けた取り組みとなると考えており、JAグループとしてデータ提供など積極的に関わって行く必要があると考えています。また、令和9年度から始まる新たな水田政策について政策提言を行っていくべきと考えています。JAとして持続可能な農業の実現に向けて不断の努力を行っていく必要があると考えています。
37	川跡	今年の稲の生育状況はどうか。	水稻の生育は、5月の天候が、平年より気温が低い日が多く、特に下旬は大きく下回る状況だったため、生育に遅れがでていましたが、その後、6～7月の高温により、コシヒカリおよびつや姫ともに、平年に比べ出穂期が4～5日程度早く、昨年とほぼ同じ状況です。茎数については早い品種「つや姫」、「つきあかり」でやや少なく、「コシヒカリ」、「きぬむすめ」で平年並みとなっています。病害虫の発生状況については、イネカメムシが昨年に引き続き発生し、7/14には斑点米カメムシ類に注意報が発表されやや多い状況で特に注意が必要です。その他、ニカメイチュウの発生が見られますが、その他の病害虫はやや少ない状況となっています。稲刈りも早い品種で8月8日からスタートしました。今年も刈取り時期の高温が予想されています。生育状況をよく観察し適期刈取りをお願いします。
38	川跡	管理部門の本店集約をすることによって職員の意欲減退や退職者の増加につながらないか、JAが組合員と同じ方向を向いて運営していただけるのか不安である。	組合員との意思反映、行政との連携などの観点から地区本部は存置し、管理部門のみを本店に集約することで捻出した人員は店舗・営農センター等へ配置し、組合員サービス向上にあてます。見直しについては組合員大会、座談会などを通じて組合員の意見を伺いながら進めていきます。
39	長浜	総代会では厳しい意見が出ていたと思うが、中期経営計画にあった、農林中金との関係が気になった。農林中金からの配当はない、ということなのか。また、農林中金に対しては、出資なのか融資なのか。出資であればゼロになる可能性があることは危険ではないのか。	農林中金からの配当はありません。農林中金の保有している外国債券の評価が下がり最終的に赤字決算となったため、配当されないことになりました。JAは農林中金に一定額の貯金を預ける決まりがあり、貯金の奨励金が入ってきます。外国債券は売却することで損切りし、今後は投資先を分散するなど運用方法を変えることによって今期の黒字決算をめざします。農林中金の資本再構築の協力要請により当組合は「後配出資の増資」と「期限付劣後ローン実行」を実施しています。
40	長浜	以前やっていたママさん号を復活させて欲しい。地区の高齢化が進み若い世代の者とは別居している世帯が増えている。ママさん号は赤字で採算がとれないことは承知しているが、一般企業とは違い赤字分野を簡単に切り捨てるのではなく、協同組合の精神で組合員のためのJAであってほしい。	現在、小規模店舗の運営方針の見直しと赤字改善にむけた検討を進めています。移動販売車についてはその中で検討、協議をさせていただきます。
41	長浜	米不足で騒がれているが、過去の減反対策、農家の後継者不足で米を作る農家が減っている。機械の修理や維持など必要経費がかさみ採算が取れないことが原因だと思われる。米価に国の政策が大きく影響するが、買い手と農家のどちらかが納得できるようJAが旗振りをしていくべきではないか。	米価については、需給バランスの再構築はもちろんのこと、令和7年6月に成立し令和8年度より運用が予定されている「食料等の持続的な供給を実現するための食品等事業者による事業活動の促進及び食品等の取引の適正化に関する法律」(食料システム法)が、農畜産物の合理的な価格形成の実現に向けた取り組みとなると考えており、JAグループとしてデータ提供など積極的に関わって行く必要があると考えています。また、令和9年度から始まる新たな水田政策について政策提言を行っていくべきと考えています。JAとして持続可能な農業の実現に向けて不断の努力を行っていく必要があると考えています。
42	長浜	ラピタ売出し商品の表示と並んでいる商品の違いがあります。担当の人の確認・指導をお願いします。(豚肉こま切れ128円/100gの表示でしたが、並んでいるのは138円/100gでした。次の日見たら138円/100g。いつもは138円/100gなんだと分かりました。売出し商品と一緒に並べてはしくありません。表示だけで買う人もいますので、なぜその時店員さんに聞かなかったのか、前回は表示と違う商品が並んでおり、言ったことがあります。その時の店員さんと担当の人の対応が嫌な感じを受け、教えた私も嫌な気持ちになったので言えませんでした。)	特売表示価格と商品価格の相違については、担当者及び管理者を含め確認徹底をするよう指導をして参ります。また接客については不愉快な思いをさせてしまいましたことお詫びいたします。今一度、職員教育の徹底を図って参ります。
43	長浜	入組2・3年目や中堅職員の退職者が多いのだが、なぜか。対策は考えられているのか。	入組2・3年目や中堅職員の退職が多い背景には、待遇面に対する不満や、業務・組織への愛着ややりがいの低下(エンゲージメントの低下)が影響していると考えています。こうした状況を踏まえ、待遇面の改善として令和7年4月から新人事制度を導入しました。初任給の引き上げに加え、若手職員の基本給を見直し、一般職には自己啓発を支援する「スキルアップ手当」を新設しました。さらに、県域職・地域職の選択制を導入し、職員一人ひとりの実情に応じた柔軟な働き方が可能となるよう制度改革を行ったところです。今後も、制度の運用状況を踏まえ、適宜見直しを行っていく考えです。エンゲージメントの向上に向けては、まず職員がJAに対してどのような思いで働いているかを把握するため、JAしまね全職員を対象としたエンゲージメント調査を実施しています。調査結果を分析し、適切な対応を図ることで、職員一人ひとりがやりがいを持って働ける職場環境づくりを強化してまいります。

令和7年度地区別組合員大会 質問・意見・要望の要旨 (開催日順)

通番	ブロック・支店	質問・意見・要望の要旨	その場での回答
44	長浜	圃と荒茅が統合するときの説明会で農林中金からの配当が少なくなり経営を安定するために店舗の統廃合が必要になったと言われた。今回農林中金からの配当金がないと聞いたが、それを理由に統廃合している支店がないのはなぜか。	支店再編の取り組みについて、改めてご説明いたします。背景として、①人口減少や少子高齢化の加速による事業量の減少、②日銀のマイナス金利政策による貸出金利の低下・共済保有高の減少など、信用・共済事業の減少、③令和元年度から4年度にわたり農林中金からの預金奨励金削減(JAしまね全体約2.5億円/年、合計約10億円の収益減少、うち出雲地区本部約2.5億円の収益減少)が挙げられます。これらの環境変化をふまえ、平成29年8月にJAしまねおよび出雲地区本部の今後の収支シミュレーションを行った結果、いずれも令和元年度以降、大幅な赤字となる予測となりました。その結果、平成29年10月に「店舗再編・機能のあり方検討プロジェクト」を発足し、平成30年3月理事会において「店舗再編計画」が承認され、第1段階として自治単位が同一にある支店統廃合(今市⇒出雲支店、有原⇒塩治支店、荒茅+圃⇒長浜支店)を実施させていただきました。その後、第2段階として令和4年度末に7支店のランチインランチ(店舗内店舗)化、令和6年度末に6支店のランチインランチ解消(店舗統廃合)を実施し、令和8年度には大社支店+荒木支店(遙堪)の統廃合を予定しています。支店再編の背景にある農林中金の預金奨励金削減は、信用事業収益に直接影響するものであり支店の事業収支に大きく影響を与えます。対して今回の配当不実施については、配当金は事業外収益として計上するものでありJA全体の当期剰余金には影響しますが、支店の事業収支に直接的な影響を与えるものではありません。また奨励金削減は長期的な影響がある一方で、今回の配当不実施は一過性のものであることから、これを理由に支店統廃合を行う考えはありません。
45	長浜	カントリーエレベーターについて、以前より老朽化が進んでいるという話が出ていたが、対策は検討されているか、今後の話が聞きたい。	北部・平田カントリーは半世紀を越す物件と成り、老朽化によって年々千万円単位で保守修繕費が増嵩している現状にあります。ですがこうした施設は今後もJAに無くては成らない施設と考えており、できるだけ早期に新築更新を図りたいのは山々ですが、一方で農業経営体が徐々に大型化し、自前で乾燥調整体制を構築される向きも出始め、徐々にJA施設の利用が減りつつある中で、JA施設の新規整備の計画は立て難くなっているのも現状です。そこで、将来を見据えたより高度な機能を有する施設への更新は、整備計画が整い難い単一施設の更新ではなく、近隣地区本部の施設と連携した整備構想が現実的と考え、今後、協議が進む事業本部制の施策の一つとして本店・近隣地区本部と内部協議を始めるとともに、行政支援が不可欠として関係機関とも情報共有を図るところです。叶いそうな整備構想が見えたとき、関係する皆様方にも計画を開示し、意見を伺いながら計画を煮詰めてまいります。あまり年月を費やさないよう取り組み所存ですので、その節はご理解とご協力をお願い致します。
46	長浜	カントリーの利用料が高すぎると思う。資材等が高騰しているような厳しい状況なので、利用料の引き下げをしてもらいたい。	カントリーの利用料が高過ぎるとのご意見ですが、JAの施設運営も例外無くコストが上がっており、根拠を得ながら運営できる利用料の設定を所望です。特に、前述の通り近年は施設修繕費が増嵩しており、一昨年、値上げさせて頂いたばかりですが、それでも今も県内のJA施設では安価な方に在ります。現在も収支ギリギリの運営で、コストを割る利用料収益しか無い実態の中で、私共はいかに効率良く運営し稼働を維持するかに努めるところですので、ご要望の引き下げられる余剰な徴収など無く、むしろ再度値上げをお願いさせて頂きたいのが本音です。その情報公開が不足していると言うことであれお繋ぎしなければなりません、この件に関しては何卒ご理解を頂戴したく存じますし、また、施設の稼働にも人手が必要なところ、近年そうした人材不足も起きていますので、特に8月下旬からの新米荷受け作業へ皆様のお知り合いをご紹介頂く等、一層のご協力をお願い致します。
47	湖陵	みどりショップの閉店により、隣接する精米機を移転する必要性が発生する。仮に移転すると多額の費用が発生するし、9号線より南に移転させると、北側の方は9号線を渡らなければならず、非常に不便になる。今後も現在の場所で精米機を設置して欲しい。	現状の場所で精米機を設置し続けることで、利用者の方々にも今まで通りの利便性を維持できるよう努めてまいります。
48	湖陵	みどりショップが閉店したのは、非常に残念です。代わりにナフコやジュンテンドーに農作業用品を買いに行くが、長靴では行けない。	これまでみどりショップをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。ジュンテンドーについては、農家の皆様が入りやすい店舗づくりを目指して意見を提案してまいります。また、グリーンセンター各店では、店内にそのまま履いて入れる長靴をご用意しておりますので、ぜひご検討ください。
49	湖陵	町内やコミセン関係の入金にATMを利用するが、入金件数が多く、後ろに人を待たせている状況が多々ある。ラビタ湖陵店のATMは硬貨対応ではないので、湖陵支店ATMを2台にする等の検討をしてもらいたい。	まずは、ATMの利用率を向上していただきたいです。地区本部内でも上位の利用率になれば、検討する方向になると思います。今後は湖陵地区の皆さんに、あらゆる場面でATMの利用率向上についてお願いしていきたいと思っております。
50	湖陵	JAの収支状況が厳しい中、自動車燃料事業の今後の子会社化について、説明してほしい。	この度の役員改選により役員が代わりましたので、新役員のもとで事業本部制の検討に合わせて協議されるものと考えています。
51	湖陵	葬祭センターの仕出しについてですが、お昼のお弁当と仕上げのお弁当が同じだった。最近親戚で2件不幸があったが、同じ料理だった。	仕上げのお弁当については内容がどのようにになっているのか調べさせていただきます。
52	神戸川	概算金が安いので昨年はJAに出していない。12,000円ぐらいだと労働賃金が出ると思う。経費等の金額を計算して金額を算出しておられるはずなので、きちんと調査しその明細を分かるように示したうえで決定してほしい。水稻10aあたりの収支の概算を出して欲しい。	米1俵＝60kg当たりの生産費を肥料・農薬・機械の償却費等考慮した上で18,000円と算出しています。農業規模や場所によってコストは変わってくるので明確な回答は出来ませんが、全国平均的な基準であればお知らせできます。
53	神戸川	儲かる農業にしないと担い手が育たない。儲かる農業にしてもらいたい。資金を借るため認定農業者になりたいが320万の利益を出さないといけない。ほとんどの中小農家は赤字である。税務署にどんな申告しているか一度確認してみてもどうか。	認定農業者の基準については、「出雲市農業経営基盤強化促進基本構想」の中で決められており、基本的には一般的な所得水準を満たす必要があります。農業者は経営者である必要もあるため、JAでは経営に必要な各種研修会の開催、農業経営相談所を利用した専門家派遣など様々な支援を行っています。今後も、担い手に対してより良い経営になるよう支援して参ります。品目や規模によっては、320万以上の所得が出ている方もおられるようです。税務署へ申告の個別確認については、個人情報保護法の観点から難しいと料料します。
54	神戸川	懸け橋事業の申請をしたが、面積が倍ぐらいないと通らないといわれた。ハードルを下げても借りやすい制度にしてほしい。中小農家は補助を受けられなければやめてしまうと思う。代わりに作ってくれる人を探すのも難しい⇒田畑が荒れるという悪循環になってしまう。	今回ご相談いただいた内容が同種機械の2台目導入であったことから、制度の要件で面積の拡大が必要でした。出雲農業未来の懸け橋事業では農業者のニーズに応えるため、様々なメニューがあり、生産規模に応じて申請できるメニューも変わるため、要望があれば相談をいただきたいです。今後はさらに使いやすそうなメニューへ見直していくことも出雲市と検討していきます。
55	神戸川	職員の不祥事がないようにしてもらいたい。	葬祭センターの不祥事についてはご心配おかけしました。本人はもちろん役員も処分し、横領分は弁済済みです。現在は本店の担当部署とも連携し不祥事が起こらないよう再発防止策を策定している段階です。
56	神戸川	有機農業について、職員に質問しても答えてもらえない。もっと勉強が必要ではないか。	現在注目されている有機農業は、JAしまねにおいては「有機JAS認証」の取得を目指し、品目、栽培者を対象として支援を行っています。管内でも水稻、かぼちゃについては「有機JAS認証」を取得し販売をしています。有機農業についての職員向け研修会を実施しておりますが、期待に応えられるよう引き続き研修会等を通じて、知識習得に努めてまいります。
57	神戸川	農業者が減っている中、JA委員・転作委員は必要か。	JA委員のあり方については、他町内からも同様の意見が出ておりますが、現在いい案が出ていません。転作委員は、市からの委託によるもので今後、あり方について市と協議していきます。
58	神戸川	用排水清掃について、作業者の高齢化が進んでいる。若い人にとっては「人ごと」であり、関係ない行事となっている。	この問題はJAだけでは限界があり、やはり地域(自治協会など)が主体的となる必要があると考えます。その上で、多面的事業交付金などの制度活用が出来ると考えています。
59	東部	出雲市総合計画の中に21世紀出雲空港利用促進協議会がある。JAも会員となって会に参加していると思う。せっかくJAが参加しているなら農産物を空輸し販売の振興に利用してみても。例えばFDAのセントレア・羽田空港で農産物のイベントをする等考えてみてはどうか。(最初から上手くは行かないと思うが、やってみて問題点を洗い出せば良い)	出雲空港の利用を促進していく上で、農産物の空輸や販売促進にもつながるような施策が可能かどうか協議会の中でも意見を述べていきたいと思っております。
60	東部	来年から家の光が1000円程度値上がりするようだが、JAからおさいふカードへのポイント付与または半分程度助成をしてもらえないか。	ご提案いただいた助成やポイント付与については、今後の参考とし、関係部署と協議します。購読料の半額助成は現時点で難しいですが、ポイント付与は従来通り実施します。
61	東部	米作りをする人が年々減っている。農業機械も高くなり益々米作りをする人が減っている。耕作者が減らないように、また若い人が米作りをやってみようと思う取り組みはないか。JAとしての考えを聞かせてほしい。	集落営農の後継者育成に対する各種補助金为新設されています。「(出雲農業未来の懸け橋事業)においては「集落営農組織次世代人材確保応援事業」、島根県は「『地域農業の維持・発展』に向けた担い手の確保・育成支援事業)」。JAでは各種補助金を有効に使えるように、行政と連携しながら申請支援、相談を行っています。兼業農家数も減り、「米作り」に携わる人口も減っている中で、新たに米作りを始めるにはハードルが高くなってきています。今後は、行政、担い手、営農組合等法人の協力を得ながら、「米作り」の研修についても検討していきます。
62	東部	組合員数が減少しているが対策をして欲しい。	組合員の減少については、組織基盤の問題であり、人口減少が続く中、大きな課題として認識しています。多くの皆さんに組合員になっていただき、安定的なサービスやサポートが提供できる組織基盤をつくり、一緒になって地域の農業や経済を活性化していけるよう取り組んで参ります。
63	東部	組合大会資料7ページの部門別損益計算書で農業関連事業・生活その他事業で合計▲21億円だが主な要因は何か。	これは、信用や共済で得た収益を農業関連・生活その他事業につかう協同組合の構造上の赤字となります。数年前までは▲40億程度でしたが、営農経済事業改革によって大幅に改善されています。
64	東部	組合員大会資料41ページの収支計画の経常利益が年々下がっていく計画だが、頑張してほしい。厳しい状況であるならば、出資配当金も無配(保留)にしてもいいので事業改革をし経営改善してほしい。	令和6年度は農中の大幅な赤字による無配当が原因の一つであります。今年度は出資配当金を0.75%に下げることとなりましたが、経営努力により経営改善、安定経営に努めます。

令和7年度地区別組合員大会 質問・意見・要望の要旨（開催日順）

通番	ブロック・支部	質問・意見・要望の要旨	その場での回答
65	東部	平田中央支店の駐車場のラインを引き直してもらい、とても駐車がしやすくなりました。ありがとうございました。 来月より女性部員拡大運動があるが、女性部の会員数の減少が続いています。女性部活動を活発化するためにも目に見えるようなメリットがない。新規会員を獲得するために女性部加入の特典をもっと増やしてほしい。	女性部加入の特典充実については、今後検討を進めます。内容が決まり次第ご案内しますので、ご意見・ご協力をお願いいたします。
66	東部	ラピタひらた店は生活バス利用者の来店も多いため、敷地内の横断歩道に近い場所に買物カート置き場を増設してほしい。	ご意見のとおり追加カート置き場についてはお客様の利便性が向上すると考えます。現在本店以外の店舗には追加カート置き場の設置をしていません。本店以外の店舗は屋根などありませんので、悪天候の場合にカートが濡れるほか、大風による車への接触などが実際に本店で発生しており問題もあります。また本店は施設係の職員を雇用しカートの回収等を行っていますが、店舗の職員によるカート回収が定期的に行えるのか、など人員の問題もあります。ご意見の箇所に安全にご利用いただける追加カート置き場を設置できるか、検討させていただきます。
67	東部	以前から要望していた件のJAしまね平田中央支店の窓口対応について、時間がかかっている現状である。事務の改善をお願いします。	支店再編により平田中央支店の窓口が大変混雑しており、申し訳ありません。地区本部では、来店者・処理時間等の推移を調査しており、可能なものから随時対策を行っています。具体的には、令和6年6月にATMを1台増設、令和7年1月に信用（JASTEM）端末機を1台増設、令和7年7月には職員1名を増員し、少しでも混雑緩和・待ち時間の短縮を図るように努めています。今後も引き続き、窓口の混雑解消に努めてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。なお、窓口以外で可能なお手続きについて、ご紹介いたします。ATMでは、入出金に加え、振込手数料が窓口よりも安価となりますので、ぜひご利用ください。また、スマートフォンをご利用であれば、JAバンクアプリをお使いいただくか残高照会や入出金明細をご確認いただくことが可能です。また、JAバンクアプリプラスをお使いいただくか、振込手続き・定期貯金の預入・ローンの繰り上げ返済等もできるようになっています。共済についても、JA共済アプリをお使いいただくか住所変更等の簡易な手続きが可能になります。皆様の用途に応じて、窓口・ATM・スマートフォンを使い分けていただければと思いますので、よろしくごお願いいたします。
68	東部	ラピタひらた店の肉・魚売りの商品陳列内の照明については、鮮度が分かりにくいので改善をお願いします。	ラピタでは商品を販売するにあたり店舗のレイアウト、照明、陳列などお客様に良い商品を持ち帰り良く買い物していただけるよう鋭意取り組んでいます。その中でも陳列照明は重要なサービスの一貫であると考えております。今回、陳列照明について鮮度良く捉えていただきましたことは陳列照明がしっかり機能していると考えます。また買物後の鮮度ですが、特に青果、肉、魚等の生鮮食品については開店前、11時、15時等クリーンタイムや品出しの際に1日数回の鮮度チェックを行っています。今一度、的確に度鮮度チェックできるよう取り組んで参ります。
69	大社	ラピタ大社店が支店統廃合後に移転もしくは改修をされるようだが、どのくらい休業されるのか。	ラピタ大社店の移転や休業期間については現在のところ未定です。
70	大社	支店統廃合にあたり、きつき女性部は荒木女性部と一緒にするのか。	今まで統合した支店も統合後すぐに一緒になっていないため、今まで通り別々での活動となります。
71	大社	大社支店会議室を女性部のサークル（体操教室・生花教室・パッチワークなど）で使用しているが、ラピタの移転や改修で使用できなくなると困る。	皆様方からの要望等をお聞きしながら、進めていきます。
72	大社	やすらぎ会（まめな会）も年3回会議室を使用しており、この施設が無くなると困る。まめな会は特に年齢の高い方の出席が多く、遠方であったり、荒木支店の会議室のように2Fだと不便であるため施設の存続をお願いしたい。	皆様方からの要望等をお聞きしながら、進めていきます。
73	大社	支店統廃合の説明にATMコーナーのことが記載されていないが、残していただきたい。	存置する考えです。
74	大社	米やぶどうなど農家直販で購入される方もおられると聞くと、その数量などは把握しているのか。	生産者が消費者へ直接販売される農産物については、調査を行っていないため、数量および販売金額の把握はしておりません。JAからは強制はできませんが、米、ぶどうをはじめとした農産物の有利販売に取り組んでおりますので、生産者におかれましては共販への出荷をお願いいたします。
75	佐田	ラピタ佐田店の業態変更についてコンビニ化という表現は24時間営業であったり店舗ATM等誤解を生むので表現が適切ではないのでは	ご指摘の通りです。表現の仕方を改めさせていただきます。
76	佐田	米の値段についてきぬむすめを生産し5kg約1,600円のもの店頭と並ぶ段階で4,300円で販売されている状況をみれば保管、精米、パックング、物流などの経費を考慮したとしても2,600円上がっているのであれば最終精算の金額は相当増えるのが普通だと思うがどうか。米の価格、販売金額を決めていく過程について説明してほしい。	保管、精米、輸送経費なども高騰してきており、JAが意図的に価格を釣り上げたり儲けている状況にはないことをお伝えします。ただ米の売価については、絶対量が不足しており、ラピタでも品不足となる中で他店の状況も見ながら価格を決めています。極端に安価で販売することで、直ぐに棚が空になるようなことも避ける必要があります。
77	佐田	ラピタ佐田店の業態変更について店舗がリニューアルされることだが、産直コーナーは残るのか。地元の生産者の生きがいでもあるので是非残していただきたい。	リニューアルに合わせて駐車場のラインやフェンスなども整理したいと思っています。売り場についても面積を含めレイアウト等も検討段階です。ご意見として承ります。
78	佐田	出雲支店には貸金庫があったと思うが他の金融機関では問題があったがJAは問題はないか。	貸金庫については必ず2名でないと操作出来ない仕組みになっています。利用状況は4～5割となっており、今後の貸金庫の取り扱いについて現在検討しているところです。
79	佐田	女性部員としてラピタ佐田店をこれまで利用するよう声掛けもしてきました。店が狭くなることは当然品数も減少することになると思います。ピンゴとスタンドの値引きについては残して欲しい。ピンゴカードがどれだけ収支に影響しているかはわかりませんが検討いただきたい。ピンゴ廃止で逆に佐田店からみなみ店へ離れることにならないように。	ご意見として今後の検討の参考にさせていただきます。
80	佐田	除草剤のとりまとめ用紙に希釈倍率の記載が無かった。ドローンで使用できるか分からないので載せていただきたい。	用紙の空きスペースの関係で注文書への記載は難しいですが、水稻農業の紹介チラシなどへの掲載を検討いたします。薬剤の使用において不明点がございましたら、各営農センターまたはTACまでお気軽にご相談ください。
81	佐田	ラピタ、佐田支店の改装により営農センターはどうなるのか？	営農センターは建物が佐田支店と繋がっているため支店を解体すると営農センター部分だけを残すことが構造上出来ないようです。先般の支店運営委員会の中でも営農センターの存続についてご意見をいただいておりますので、耐久性や諸課題を含め検討して参ります。
82	佐田	外勤日が3日間の間で実施されるようになったが、外勤日で玄関にポンと置いて帰るようでは意味がないと思うがどうか。	組合員の皆さんとの対話が重要と考えておりますので、ご指摘の件は以前からもあり、改めて支店長等から指導を徹底します。
83	佐田	農政について中山間地農業について県、市とも取り組むということだが具体的な支援策があまり目に見えて現れていないように感じる。中山間地ではドローンやスマート農業なども木や電柱、電線が邪魔になったり、電波状況が不安定であったり条件不利となっている。懸け橋事業も平場は割と申請があるが中山間地は少ないと思う。懸け橋事業などで全くないという事ではないが、除草対策で防草シートとかにも支援していただけるとありがたい。センチビードグラスも耐用年数を超えてくると維持管理が大変なようだ。	JAと出雲市が行っている「出雲農業未来の懸け橋事業」では中山間地域は規模要件の緩和、独自メニュー実施などを行っています。出雲市単独の「出雲市農業新チャレンジ事業」ではドローンの補助もありますので活用をお願いします。令和7年度出雲市事業「農業用除草作業機導入支援事業」は、想定を超える申請があったと伺っています。今後も同様な事業が実施されるよう出雲市へ要望していきます。また、令和9年度より国の農業政策が大幅に変更されると聞いています。中山間地域等直接支払制度などの事業について注視していくとともに、行政等連携を図りながら、情報共有をしていきたいと考えています。
84	出雲東	ラピタの雨除けは外さないでほしい。	現在、ラピタ本店通路の雨除けは外す予定はありません。
85	出雲東	職員の採用状況・職員数の増減について教えてほしい。	本年度的新規採用者は0名でしたが、中途採用者として6名を採用しました。一方で、退職者数は増加傾向にあります。主な退職理由としては、より条件の良い職場への転職、業務内容が想定と異なっていたこと、介護や育児など家庭の事情によるものなどが挙げられます。こうした状況を踏まえ、今年度は給与体系の見直しを実施し、初任給の引き上げに伴い、若手職員の給与を増額しました。また、一般職員を対象に「スキルアップ手当」を新設し、資格取得や能力向上への意欲を支援することで、働きやすく、やりがいのある職場づくりを目指しています。さらに、一度JAを退職された職員が再び勤務を希望される場合に備え、カムバック制度の導入についても現在検討を進めております。
86	出雲東	農業者を増やしていないといけないが、農業者を増やす対策・支援はあるのか。営農組合のオペレーターの育成も苦慮している。	出雲市農業再生協議会で行っているアグリビジネススクールを通して担い手の育成を行っています。後は行政、担い手、営農組合等法人の協力を得ながら、「米作り」の研修についても検討していきます。
87	出雲東	特別利益・特別損失とは何か。また、事業利益よりも特別損失が多い理由は何か。	特別利益、特別損失とは臨時的な収益や費用を示しております。令和6年度、出雲地区本部の特別損失は2億5,800万円となりました。主な内訳としては臨時損失（有線撤去費用、施設の解体費用等）、減損損失、固定資産圧縮損となっております。有線事業廃止や遊休資産の増加により各施設の解体撤去費用が増加していることが主な要因と言えます。
88	出雲東	JAの役を担う人が減っている。総代定数の見直しは割り振りが変わっただけで、出雲地区本部については定数が増えている。変更できないか。	JAしまね統合時から総代定数は変更することなく事業運営を行って参りましたが、正組合員の減少等により実態との乖離が拡大していました。それを是正するため、今までの正組合員数と事業量割から正組合員数割に変更し、総代定数の見直しを行いました。しかしながら、総代定数については、様々なご意見を組合員の皆さまからいただいております。今後の参考とさせていただきます。
89	出雲東	女性部員が減少しているため、部員を増やす支援をしてほしい。	女性部増員キャンペーンを実施し、新規部員獲得には奨励金を支給します。今後も活動支援や情報発信に努めますので、ご協力をお願いいたします。
90	出雲東	合併してからJAはおかしい。農村地帯の支店は全てなくなった。儲け主義ばかりで農村地帯が切り捨てられている。	同様の発言が各地であります。統合10年、この10年をしっかりと検証して組合員の皆様に必要なとされるJAを目指します。
91	出雲東	組合員の意見を広く受け付けるために、事業拠点であるJA施設に目安箱を設置してほしい。	ご意見として今後の検討の参考にさせていただきます。

令和7年度地区別組合員大会 質問・意見・要望の要旨 (開催日順)

通番	ブロック・支店	質問・意見・要望の要旨	その場での回答
92	出雲東	JA上津会館は令和7年度末で借地の期限を迎えると認識していますが、除却に向けた交渉の現状を報告願います。	令和6年12月に地権者と返還に向けて協議を開始しました。一方でコミセンの駐車場の不足していることに関する上津地区の地元要望もあり、出雲市に当該地の取得について検討頂くよう事務レベルで交渉しています。そのなかで、出雲市としてもコミセンの駐車場不足を認識していること、ATMを上津地区内に存続させるためATM用地を市の方で用意したいとの回答を得ています。また、地権者・出雲市・JA間で情報を共有していくこととしていますが、現時点では進展がないのが現状です。今後の流れとしては、出雲市と地権者との間で売買等に合意し、市からATM用地の指定があった後、ATMを移転のうえ建物を解体し更地返還となる想定でいます。現時点では、市と地権者との間で交渉が進展していない模様であり、JAとしては当面1～2年程度の賃貸契約の延長を視野に入れている状況です。ある程度、具体的にになった段階で地元説明(支店運営委員会等)を行いたいと考えます。
93	出雲東	営農組合との関係はJAのライバルですか？共同体ですか？支援されますか？	各地域の営農組合はJAに出資していただいでおり、JAの各事業を利用する組合員となります。JAとしてはできる限り多くの事業について利用していただけるよう努力をして行く必要があります。また、営農組合をはじめ組合員の皆様に置かれましては、協同の精神のもとご利用頂きますようお願いいたします。
94	出雲東	ラピタはまやま店のトイレが汚い。店舗は綺麗だが、トイレが汚すぎるので掃除を徹底してほしい。	ご迷惑をお掛けして申し訳ございません。売場同様に定期的な点検や日常清掃に気を付け、より清潔で快適な環境をご提供できるよう努めてまいります。
95	出雲東	ラピタ本店のインフォメーションが夜8時で終了する。ラピタ本店の営業時間は夜9時までなので、インフォメーションも9時まで営業してほしい。	ラピタ屋上空星ピアガーデンの営業に伴い、お客様の食材の購入や利便性を向上させるため、通常閉店時間を1時間延長し夜9時までの営業としています。インフォメーションにつきましては、通常閉店時間としていますのでご理解・ご協力のほどよろしくお願いたします。
96	出雲東	ラピタ本店西側駐車場のバリケードはいつはずされるのか？工事は終わっているはずなので、はずしてほしい。駐車場に車を停めるのが困難であり、ラピタにとって来店者の減少になるのではないのか。	本店西側駐車場のバリケード内(旧御茶屋川跡地)について、市役所へ申請し埋め立て工事を行います。工事の過程で大きな重機やダンプが入ることから、支障がないようバリケードを設置しています。現在、工事については市役所へ申請中ですが時間を要するとのことでしたので、お盆等の繁忙期については、駐車に支障がない程度まで解放させていただき対応させていただきます。
97	出雲東	ラピタで生鮮食品を買物し終わり、レジ通過後、買物袋に詰めているときに間違った商品を購入したことに気が付き、すぐに交換を申し出たが断られた。どうしてなのか納得できない。結果的に、強く言ったから交換できたが、返品不可の説明もなく非常に気分が悪かった。店頭で返品・交換に関する張り紙がはつきりと掲示されていないように思う。	ラピタでは商品の異常(劣化・異物混入等)以外での返品・交換は致しかねます。この返品・交換についてはサービスカウンターに掲示もさせていただいています。ご理解をお願いします。
98	高松	ラピタはまやま店で巨峰を買ったが、非常に酸っぱくて食べられなかった。なぜこのようなぶどうが売られているのか原因を教えてください。また、この件を青果担当者に伝えたが、曖昧な回答であった。	明確にはわかりませんが、島根県のブドウは全国的にも評価は高いです。ぶどう部会が出しているブドウは糖度、形、色など基準があり、検査を通ったものを出しています。しかし全量検査は出来ません。今後は今よりも厳しい品質保証が求められる可能性もありますので、より品質のよいものを出して参ります。
99	高松	ATMの入出金手数料が無料で良い。また、昼休み休業もなく現金封筒もあり助かっている。	出雲地区本部では42台のATMがあり、ラピタはまやま店は利用率が2番目であり、全ATMで封筒を置くようにしています。
100	高松	以前、代理店扱いで自動車共済に加入していたが、面倒な手続きが多く他社に変更した。	JA共済のお客様満足度調査もしており、今後の参考にして参ります。
101	高松	ガスの請求書(ハガキ)がさらに封書に入って送られてくる。やり過ぎではないか。	現状、個人情報の関係で圧着ハガキ請求書を送っていますが、大手はスマホなどを使ってのペーパーレスに変わってきています。今後はJAも変えていく必要があると考えています。また、先月は、法令に基づき1年に一回ガスの周知チラシを送っていて、請求書のハガキと一緒に封筒の中に入れて送りました。それ以外の月はハガキで送っています。今回の事案は、本宅と住所が異なる別宅の請求書をこれまでは本宅の住所に送るため1つの封筒に入れて送っていたようですが、先日システム変更して別宅の請求書住所を本宅住所で登録が可能となったため8月からハガキ請求書が直接届くようになります。
102	高松	組合員大会が全体を通して堅苦しい。もっとゆったりとしたものにしてほしい。	ご意見として今後の検討の参考にさせていただきます。
103	高松	JA職員の離職率が高い理由と新規採用状況について教えてください。	若い職員の中には、より条件の良い職場を求めて転職する方や、JAに入ってみたものの自身の思い描いていた環境と異なり、退職に至るケースも見受けられます。また、中堅職員においては、親の介護など、退職理由は多岐にわたります。こうした状況を踏まえ、当組合では新人事制度の導入により基本給の引き上げを行い、若い世代の方々に魅力を感じていただけるような対策を講じております。さらに、「スキルアップ手当」という新たな制度を設け、職員が各種資格取得や試験への挑戦を通じて、より一層のやりがいを感じられるよう支援しています。また、様々な事情で一度農協を退職された方が、再び勤務を希望される場合、現行制度では中途採用としての扱いとなりますが、退職時と同等の処遇で再雇用できる制度の導入も検討しています。職員は組織にとってかけがえのない財産です。今後も職員一人ひとりを大切に、安心して働き続けられる職場づくりを目指してまいります。
104	高松	貯貸率が30%程度と思われるが、他の金融機関はもっと高いと思う。自己資本比率を維持するために戦略的に抑えているのか。	JAしまねの令和6年度期末貯貸率は29.3%で、他金融機関平均(62.94%・2023年3月期)に比べ低い傾向にあります。他金融機関は貸出金に占める法人融資の割合が高い一方で、少子高齢化や農業生産額の少ない当県では、個人融資や農業融資を主とするJAにとって、その資金需要にも限界があります。また、余裕資金(貯金)の運用(貸出金・有価証券等)に関しても、余裕金運用規程「農林中央金庫への預け金を優先し、その金額は、貯金および定期積金の合計額の2分の一を下回ってはならない」に基づき、貸出金に対する制限があることから他金融機関とは異なります。
105	高松	以前は組合員が農協から離れていくと言われていたが、現在はJAが組合員から離れていくと感じる。事業本部制になれば、さらにその進行速度は早まると考えます。現時点での対応策を問います。	人口減少や高齢化に伴う農業構造の変化、信用・共済事業の収益低下、職員数の減少などの影響を受け、今後も経営環境の悪化が続くと予測されていることから、統合メリットを發揮するためJA経営の効率化に取り組んでいます。組合員の皆様には支店再編等によりご不便・ご迷惑をお掛けしていることは重々認識していますが、農業協同組合である前提として健全な経営基盤を維持・確立しなければ、JAの最大の使命である農業振興に注力できなくなることについては、ご理解をお願いします。なお、本店を事業本部とする新たな運営体制については、先般の第11回通常総代会において基本方針が承認されたところであり、具体的には新役員体制のもと検討が進められることになっています。基本方針として、①12の管理部門(本店+11地区本部)を集約、②事業本部制へ移行し事業部門の機能強化による組合員サービスの向上、③地区本部を存置し、組合員の意思反映や地域性の發揮によるJAらしい運営を行うことを掲げています。検討状況に進展がありましたら、説明・報告の機会を設けることになると考えられますので、その際にはよろしくお願いたします。
106	高松	以前から肥料・農薬などの価格が他店と比較して高いと言われていたが、事業本部制になり、仕入れも一元化されその効果が發揮されることを期待します。	JA肥料は、化学的特性だけでなく物理的特性にもこだわり、独自の厳格な品質管理基準のもとで製造されています。そのため、品質や効果を重視した商品であることから、他店と比較して割高な場合があります。しかし、今後の事業本部制への移行により、コスト削減、在庫管理の簡素化、調達プロセスの効率化が期待されます。これらの取り組みを通じて、さらなる低価格化を実現すべく努力してまいります。
107	高松	組合員大会・冬期座談会は組合員の意見・考え方を開ける貴重な場と思う。今後も継続されるのか問います。また、新たな方策の考えはあるでしょうか。	組合員大会は、『地区本部役員が各地区に出かけ、JAの事業概況を組合員に報告するとともに、意見交換を通じてJAへの理解を深めていただくことを目的』として、出雲市農協時代からの伝統かつ出雲地区本部独自の取り組みとして開催しています。また、冬期座談会は『組合員等との対話を通じ、意見・要望を引き出し、活発なコミュニケーションを図ることを目的』として開催しています。ご意見のとおり、組合員大会・冬期座談会は組合員の意見・考え方を伺う貴重な場として今後も開催を継続したいと考えます。また、両会議ともに農業者数・組合員数の減少に加え、令和2年からのコロナ禍以降、参加者が減少しており、開催単位・内容等を含めどのような形式とすべきか課題認識はもっています。本日ご出席の皆様には、今後もお誘いあわせのうえお出かけいただき、JAに対するご意見等をお聞かせいただきますようお願いいたします。
108	高松	美味しまね認証の状況・新規就農状況	【営農企画課】 令和6年度の実績 認定農業者については、新規認定が14経営体(内 法人化4件、事業継承2件)あり、斐川を除く総経営体数は242となります。 認定新規就農者については令和6年実績は新規認定6名となり、斐川を除くと29名(参考:斐川4名)となっています。 毎年一定数の新たな担い手の確保が実現していますが、出雲市内でも地域(平場)や品目(ぶどうやアスパラガスなど)に偏りがあり、ここが課題であると認識しています。国・県などの各種補助事業の活用や、全国的にみても稀な「出雲農業未来の懸け橋事業」や「新出雲農業チャレンジ事業」など、少しでも幅広く出雲の農業に魅力を感じていただき、就農していただけるよう努力していきます。 【総合指導課】美味しまね認証の状況 農産物の安全を確保し、より良い農業生産を実現し、選ばれる産地となるために、各生産組織において、美味しまね認証団体取得に向けて取り組み、現在は、8組織で団体認証を取得し、より高いレベルのGAP認証基準「美味しまね認証ゴールド」への取り組みを進めています。また、個人認証についても新規就農者や補助事業採択の要件化により取得も増加しつつあります。【団体認証】:JAしまね出雲しいたけ部会、JAしまね出雲ぶどう部会美味しまね認証グループ、JAしまね出雲アスパラガス部会、JAしまね出雲ブロッコリー部会グループ認証、JAしまね多伎いちじく生産部会美味しまね認証グループ、JAしまねいずも青ネギ部会県認証G、JAしまね出雲神在ねぎ部会、出雲大納言小豆美味しまね認証グループ。 【個人認証】:青果物30、穀物6、卵1

令和7年度地区別組合員大会 質問・意見・要望の要旨 (開催日順)

通番	ブロック・支店	質問・意見・要望の要旨	その場での回答
109	高松	農業機械の値段が高く、設備を更新できずに廃業する農家が後を絶ちません30年前に廃止された個人農家への補助制度を復活するよう国に要望してください。	まず、かつての戸別所得補償など大型補助事業については予算の関係がネックになると考えています。令和7年6月に食料システム法(正式名称「食品等の持続的な供給を実現するための食品等事業者による事業活動の促進及び食品等の取引の適正化に関する法律」)が制定されました。この法律は小売業者等(買い手)は生産者(売り手)に対して、価格交渉を誠実に行う義務が生じるなど合理的な価格の実現に向けた法律になります。これにより機械の更新などを含んだコスト全般の価格を明確化することで適正な販売価格の実現に向けた動きが本格的にスタートすると考えます。その上で、新規就農者に対する取得支援や、規模拡大、スマート農業への転換、土地改良などに対する手厚い支援が可能であると考えています。この適正な価格による販売が実現できるようJAとしても取り組み必要がありますし、農政会議等と連携を図りながら国等へ働きかけていきます。
110	多伎	ラピタ多伎店・湖陵店の経営が厳しいとのことだが、多伎店と湖陵店を一緒にして新たな店舗を運営する考えはあるのか。	以前に多伎店・湖陵店を一つにする話がありましたが、費用面、人口等の問題で白紙となった経過があります。ご意見として承ります。
111	多伎	多伎加工場について、多伎特産の維持のためにもいちじく加工を引き続き頑張ってもらいたい。	生産者の高齢化や老木による生産量、出荷量の減少と近年は高温、少雨による果実の肥大不足も重なり、生果、加工原料の出荷量が減少しています。今後の加工場運営の見通しですが、加工原料が減少する中で、事業利益の赤字を削減する為、人員の削減を行いながら収支の悪化にならないように努めていますが、今後も加工原料が少ない状況が続けば、加工場を維持していく事が難しくなります。加工場の干しいちじくは、全国的にも珍しいセミドライの干しいちじくです。現在は大粒の原料が不足しているため、製造が出来ずに県外の業者の皆様への販売は10月～2月までの期間で数量制限で行っています。今後も加工場を続けていくためにも、いちじくを生産量を安定させて行くために、新規栽培者の拡大、圃場への補植(励広台1号)、老木の改植を行って頂くとともに、高温、乾燥対策による果実肥大をしっかりと行って頂き、安定した出荷をお願いします。
112	多伎	多伎管内には、ラピタ多伎店と田儀会館でATMが2台あるが、これまでの経過があるにせよ支店にATMがないのもどうかと思っている。	昨年8月27日に多伎支店運営委員会を開催し、多伎支店へATMを移設するか現行通りラピタ多伎店に設置を継続するかを検討いただいた結果、現行通り、ラピタ多伎店へ設置と意見がまとまりました。
113	多伎	概況DVDによりJAの現状が良く分かった。組合員大会に役員が出かけ、質問に対して役員が的確な回答をしてもらい良い会であった。また、多伎支店の店舗周辺に花が植えてあり癒される。入店の際の挨拶もよく雰囲気が良い。店内には家の光を活用した展示物もあり購買意欲が沸く取り組みをされている。	ありがとうございます！これからも皆さまが気持ちよく利用できるJAを目指してまいります。
114	多伎	いちじくを生産量が不安定な状況にある中で、今後の加工場の見通しについて	生産者の高齢化や老木による生産量、出荷量の減少と近年は高温、少雨による果実の肥大不足も重なり、生果、加工原料の出荷量が減少しています。今後の加工場運営の見通しですが、加工原料が減少する中で、事業利益の赤字を削減する為、人員の削減を行いながら収支の悪化にならないように努めていますが、今後も加工原料が少ない状況が続けば、加工場を維持していく事が難しくなります。加工場の干しいちじくは、全国的にも珍しいセミドライの干しいちじくです。現在は大粒の原料が不足しているため、製造が出来ずに県外の業者の皆様への販売は10月～2月までの期間で数量制限で行っています。今後も加工場を続けていくためにも、いちじくを生産量を安定させて行くために、新規栽培者の拡大、圃場への補植(励広台1号)、老木の改植を行って頂くとともに、高温、乾燥対策による果実肥大をしっかりと行って頂き、安定した出荷をお願いします。
115	多伎	ラピタの会社化に伴う多伎店の今後の運営について	ラピタ会社化については冬期座談会で今後検討をしていく旨を組合員の皆様にご説明をさせていただきました。専門機関と検討を重ねる中で大きな課題が3つあります。①のれん代の有無②運転資金の確保③従業員の個別同意があります。いずれも検討に時間を要します。そうした中、このまま小規模店舗の赤字経営を改善しないわけにはいきません。小規模店舗については採算コストに見合った運営の見直しを策定し実行してまいります。
116	多伎	JA出雲地区本部の事業改革として、「ラピタ運営体制の見直し」を検討中であると思いますが、現時点での状況を伺います。店舗の従業員も減少しているなかで、近いうちに株式会社として子会社化し専門性を高め、現状と変わらず店舗閉店することなく生活購買の拠点として運営されていくということでしょうか。去年のこの会場でこの件が質問されておりました。私は組合員としてラピタの支店やグリーンセンターを利用しおさいふカードにポイントを貯めております。なかなか話を聞く機会は少ないと思いますので上層部の方のご回答をよろしく願いいたします。	ラピタを取り巻く環境は、競合店の出店や仕入原価の高騰・光熱費や人件費を含む運営コストの増加など非常に厳しい状況です。また、従業員不足や老朽化した施設の更新など将来的にも課題が山積しています。先般も老朽化により多伎店の国道9号側の窓壁の支柱がさびで腐り壁が落下しました。幸いけが人は出ませんでしたが、すぐに修繕に入り修復させていただきました。このよう中で店舗事業を存続させるため、様々な改革を検討し、その手段の一つとして運営体制の見直し(会社化)や小規模店舗のあり方について検討・協議を進めています。現時点で会社化や赤字店舗の閉店はございませんが、毎年大幅な赤字であることや施設や設備の老朽化、人口減少を踏まえると、近い将来、店舗経営ができなくなると思われます。そのような状況にならないよう赤字改善に向けて改革を進めてまいりますので、ご不便をお掛けする点もごさいますが、ご理解・ご協力を頂きますようよろしくお願いいたします。